



千一ム力合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



力合小学校だより NO.9

令和5年9月25日

児童数:503名

文責:校長 馬場康弘

2泊3日の集団宿泊教室！

9月11日（月）から13日（水）まで、5年生は集団宿泊教室として、阿蘇青少年交流の家に行ってきました。学年の仲間が一堂に揃い、親元を離れ、寝食を共にする貴重な経験の場です。



テレビやゲームはもちろんありません。阿蘇の大自然の中で仲間と協力し、助け合いながら3日間を共に過ごします。集合時間も厳守で常に5分前行動が徹底されます。時にはトラブルが起きながらも子どもたちは何とか「折り合い」をつけながらグループの和を保とうとする姿がたくさん見られました。これから子どもたちが成長していくにつれ、自分たちで問題を解決していく力が強く求められます。その力の一つが、「折り合いをつける力」だと考えます。

また、子どもたちは、青少年交流の家の職員の方々から、たくさん褒められていました。「あいさつがよくできる」「布団の片付けが一発合格（これは簡単には合格がもらえないのが現実です）」「黙って集合できる」「反応が良く、聞き方が上手だ」等々。保護者の方々の普段の躾や担任の事前指導、そして子どもたちの自覚ある行動が、このような褒めの言葉に表れたものと確信しました。子どもたちにとって、いつまでも思い出に残るステキな3日間となったことでしょう。5年生の保護者の皆様方のご支援とご協力に深く感謝しております。ありがとうございました。

地域や専門家に学ぶ！

15日（金）に力合校区自治協議会会長でいらっしゃる安井正春様のご厚意により、大根の種子植え体験をさせていただきました。今年度は、2年生と5年生が安井様の畑をお借りして貴重な



体験をさせていただきます。安井様は、「子どもたちが協力して作業をすることにより、お互い仲良くなるし、いじめもなくなると思います。」と私に話されたことが、とても心にしみました。いつも温かい目で子どもたちや学校を見ていただいている自治協議会の皆様方に心から感謝申し上げます。



また、21日（木）には、南区役所区民部総務企画課より2名来校いただき、今年も4年生を対象に「防災出前授業」を行っていただきました。

豪雨災害をはじめ災害時の心得や避難の仕方など、実際に現物を示しながらご説明されました。災害用トイレなど間近で見ることができ、子どもたちはさらに理解を深めることができました。

大盛り上がりの市Pバレー！

9月2日（土）に、市Pバレー大会が力合西小を会場として行われました。今年は参加校も増え、昨年の倍となる8校でした。プレーヤーと



ベンチが一体となって、大熱戦を繰り広げられました。結果は1試合目が完勝で、2試合目は事実上の決勝戦である力合西小戦でした。手に汗握る大接戦の末、惜しくも僅差で破れ3位でした。楽しみながらも真剣な表情でバレーをされた選手の皆さん、本当にお疲れさまでした。

声楽コンサート！

21日（木）の2時間目が低学年、3時間目が高学年と2部制で行いました。歌を歌っていただいたのが、熊本市出身で現在オーストリアのウィーンでご活躍中の中山裕美子様です。そして、ピアニストは沖縄県石垣島出身の山城英樹様です。



特に中山様は、現在本校2年3組担任の中村りか教諭の30年前の教え子さんという縁もあり、このようなコンサートが実現しました。

中山様の表情がとても豊かで、会場に響き渡るプロの歌声に、子どもたちも自然と声楽の世界に浸っていました。きっと貴重な機会となったことでしょう。

コロナ禍において、前述の大根植えや防災教育と同様、子どもたちに「本物に触れさせる」機会が一番停滞していました。学校に関わってくださる多くの方々のお力が、大変励みになっています。もし、このような特技等をお持ちの方やお知り合いの方にいらっしゃれば、校長までお知らせいただければ大変ありがたいです。どうぞよろしくをお願いします。

通知表をお渡しします

29日（金）に、前期の通知表をお渡しします。特に1年生の保護者の方におかれましては、小学校で初めての通知表ということもあり、関心も高いのではないのでしょうか。

通知表は何のためにあるのか？と聞かれたら「子どものやる気を引き出すため」と私は答えています。つい教科の成績を重視して見がちですが、それが全てでは決してありません。その子が独自にもっているきらりと光る一面や努力した姿、人のため学級のために進んで行動に移した人間力等、担任が総合的に観て記述しております。通知表をご覧になられたら、お子さんに

「こんなところを頑張ったんだね。自信を持ってよかったね。これからは、こんなところに取り組んでいけば、きっとうまくいくよ。」と対話していただければありがたいです。

これは、故野村克也監督（ヤクルト・阪神・楽天）のお言葉です。

「意識が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」

すべての出発点は、意識改革にあるようです。